

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者		連絡先 5184
部 名	学校教育部	課 名	学校教育課	課長名	小塚牧夫
事務事業名	福祉教育推進事業				
予算上の事務事業名	福祉教育推進事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14123	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				事業開始年度
施 策 名	第2施策 小・中学校教育の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市学校教育研究事業推進協議会要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	調査・研究 ▼				
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
相模原市内公立小・中学校における、人間愛を基盤とした思いやりと他人を大切にする姿勢の育成。			市内全小・中学生徒		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
人権・福祉教育推進校 (委託金額300,000円) 2校を選定し、その他の学校は人権・福祉教育実践校 (30,000円) として指定する。各校に人権意識・福祉意識の醸成を目的とした研究を委託し、計画書・予算書・実績報告の提出をうけ、内容の確認を行う。					
6 関連・類似事業や他市の状況	横浜市においても同様の学校指定を行っている。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	5,415	3,752	3,000	3,510	3,510
一般財源	5,415	3,752	3,000	3,510	3,510
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	70	70	70	70	70
事業コスト合計	5,485	3,822	3,070	3,580	3,580
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	福祉教育推進事業			対象名称 と単位	
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	5,488	3,822	3,070	3,580	3,580
対象数	82	82	82	99	99
単位あたり経費(円)	66,927	46,610	37,439	36,162	36,162
前年度比		0.70	0.80	0.97	1.00

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの						
指標名と単位	委託校割合		指標式と指標の説明	委託校/全校		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)	
実績	1.0	1.0	1.0			
目標	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0			
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの						
指標名と単位			指標式と指標の説明			
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)	
実績	0.0	0.0	0.0			
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
目標達成度(%)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価(一次評価)						
(1) 自動判定結果						
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業					
	[★★★★] : 概ね良好な状況である事業					
	[★★★] : 見直しを行う必要がある事業					
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		人権・福祉教育推進校2校のみならず、他の80校も人権・福祉教育実践校として指定することにより、市全体としての人権・福祉意識の醸成に寄与するものであり、現状の維持が望まれる。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 学校での活動内容の吸い上げとフィードバックをより密に行う。			14 課題として認識されたこと 学校での活動をさらに改善、工夫する余地があるのではないか。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持				
	<input type="checkbox"/>	・見直し				
	<input type="checkbox"/>	・廃止				